

2014年4月吉日

消化器外科データベース関連学会協議会
関係団体御中

一般社団法人日本消化器外科学会

理事長 森 正樹

データベース委員会

担当理事 若林 剛

委員長 今野弘之



研究課題募集のお知らせ

謹啓 春暖の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素はひとかたならぬ御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2011年から開始されました National Clinical Database (NCD) の事業は関係者の皆さまの多大なるご協力のもと歩みをはじめ、このたび2011年及び2012年入力済みデータを検証し、更なる分析が可能になってまいりました。関係者の皆さまには改めて感謝申し上げます。

NCD社員として、小会ではまずNCDのシステムの正当性やデータの信頼性を担保すべく、外部の検証を受ける方策の一つとして、データベース委員会においてNCDと共同で主たる8術式に関するリスクモデル設定について論文化しました。次いで、2013年12月には消化器外科領域の Annual Report を公開し、また2014年4月1日にはリスクモデルをもとにして[消化器外科(対象術式:胃全摘)]においてリアルタイムフィードバック機能(死亡率の予測値の計算機能)をリリースし、我が消化器外科領域は、臨床現場へ成果をお届けできるようになってまいりました。

まだ進行途中のプロジェクトも多く誠に恐れ入りますが、データベース事業の成果を活用する体制の準備も整い始めておりますので、ALL JAPANで消化器外科領域を代表する研究を共に推進すべく、改めて別添のとおり2回目の研究課題募集の受付開始についてご連絡差し上げた次第です。

NCDの医療ネットワークは4,000施設を超え、DPC参加病院数、日本医療機能評価機構認定病院数、小会指定修練施設数を大きく上回り、国内外に例がないほど大規模な専門医制度と連携したデータベースに成長しました。今後、この成果を医師だけでなく、事業を支えてくださっている施設診療科やメディカルスタッフを含めた臨床現場全体に更にフィードバックすることにより、合併症発生率を低下させるなど医療の質の向上や病院経営に寄与したいと考えています。

総合的に最善の医療を提供するための有用な仕組みの一つとして継続的に活用すべく、別添のとおり標記についてご案内申し上げます。ご検討のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

謹白

2014年4月

関係団体各位

日本消化器外科学会
データベース委員会

NCD データを利用した消化器外科領域新規研究課題の公募

1. はじめに

臨床現場の医療情報を体系的に把握し、医療の質の向上に資する分析を行い、もって一般市民に最善の医療を提供し、適正な医療水準を維持することを目的として、2010年に「一般社団法人 National Clinical Database (NCD)」が設立されました。NCDのデータベース事業は2011年1月から登録が開始され、2011、2012年の登録症例がいずれも100万例を超え、膨大な診療データが蓄積されました。

日本消化器外科学会では、このデータベース事業の取り組みの信頼性について外部の検証を受けるべく、NCDと共同で2011年登録データをもとにリスクモデルの開発、評価を行い、主たる8術式について論文化しました。現在、これらのリスクモデルをもとに、NCD Feedback機能の追加リリース、新規研究課題のデータ解析といった作業を並行して進めています。

本事業は、消化器外科領域の関連団体及び日本消化器外科学会会員より広く新たな研究課題の提案を募り、All Japanの新たなエビデンスを構築していこうとするものです。本事業により、安心・納得して医療を受けられる環境整備や、「がん死亡率の減少」というがん対策基本計画の目標達成に寄与できることを期待します。

2. 公募する研究種目

今回、公募する研究種目は次のとおりです。

(1) 過去のデータを利用した研究

すでにNCDに登録されているデータを利用して行う研究です。本年度募集する研究課題では、2011年から2013年までのデータが対象となります。

(2) データ追加型研究

現在のNCD登録項目に新規項目を追加して、新たなデータを収集して研究を行うことができます。新規追加項目へデータを入力するのは、あらかじめ当該研究申請団体が指定し施設（診療科）側から協力の承諾を得たうえで、当該研究参加施設（診療科）としてNCDに登録された施設（診療科）に限定されます。本研究種目では、NCDシステムに追加項目

を実装する必要があるため、研究開始（新規追加項目への登録開始）は2015年1月となる見込みです。

3. 対象となる NCD データ

NCD に登録された全てのデータを対象とします。ただし、データは、申請・採択された項目を NCD でリスク調整した形で提供されます。

4. 応募資格

対象となるのは、日本外科学会、及び「消化器外科データベース関連学会協議会」に参加する学会又は研究会（日本消化器外科学会、日本肝胆膵外科学会、日本食道学会、日本胃癌学会、大腸癌研究会、日本肝癌研究会、日本膵臓学会、日本内視鏡外科学会、日本腹部救急医学会）であり、以下の（1）～（3）を満たしている必要があります。また、ひとつの学会又は研究会から応募できる課題数は、2 課題までです。

- (1) 当該学会又は研究会の公式機関において計画された研究課題であること。
- (2) 1名の研究代表者と1～複数名の研究分担者が指定されていること。
- (3) 当該学会又は研究会の代表者の承諾を受けていること。

※なお、日本消化器外科学会 会員個人としての応募に関しては、制度が成熟するまでは当面行わず、まずは日本外科学会及び消化器外科データベース関連学会協議会の団体各位のご協力を得ながら実施していく予定です。

5. 応募方法

別添の「消化器外科領域新規研究課題申請書」及び「承諾書」（電磁的記録版をご希望の場合は別途メールにてご請求ください。）に必要事項を記入し、応募期間内に郵送にて提出してください（下表参照）。

提出書類	提出数
・「消化器外科領域新規研究課題申請書」	1 通
・「代表者の承諾書」	1 通

提出先

〒104-0041 東京都中央区新富 1-14-1 セントラルイーストビル 5 階
一般社団法人 日本消化器外科学会
データベース委員会 宛

6. 応募期間

2014年4月25日（金曜日）から5月30日（金曜日）17時必着

応募期間を過ぎて提出された申請書は、いかなる理由であっても受領できませんので、あらかじめ余裕を持って提出してください。

7. 研究課題の選定

(1) 審査方法

日本消化器外科学会データベース委員会にて選考し、同理事会にて選定します。日本消化器外科学会にて選定された研究課題は、NCD運営委員会の審議を経て、採択の可否が決定されます。なお、選考の経過については通知しません。また、お問い合わせにも応じられません。

研究課題の選定に係る評価は、提出された申請書に基づいて行いますが、必要に応じて追加資料の提出を求める場合や、申請内容に関してヒアリング等を行うことがあります。

(2) 審査結果の通知

採択・不採択の結果は、2014年6月下旬頃、研究代表者あてに通知します。選考理由については公表いたしません。

8. 研究経費

本研究にかかる経費は全て申請者の負担となります。データ追加型研究の場合は、項目実装に関してシステム構築をNCDに業務委託（有料）する必要があります。また、データ解析も有料となります。これらの研究経費の確保にもご留意ください。研究費用については申請書類受領後、概算費用を連絡いたします。詳細に関しては、事前に日本消化器外科学会事務局までお問い合わせください。

9. 応募に当たっての注意事項

- (1) 提出された申請書を受領した時点で、研究代表者へメールにて受領のお知らせをお送りいたします。提出後、受領のお知らせメールを確認できない場合は、日本消化器外科学会事務局までお問い合わせください。
- (2) 応募された申請書は返却いたしません。
- (3) 研究成果の発表、論文化、特許申請など、研究成果の取扱いについては、日本消化器外科学会、NCD運営委員会と別途協議を行います。

10. 本件に関するお問い合わせ先

日本消化器外科学会事務局

〒104-0041 東京都中央区新富1-14-1 セントラルイーストビル5階

TEL : 03-3523-1300 FAX : 03-3523-2525 Email : db@jsgs.or.jp